

平成29年度 当初予算の概要

問い合わせ先／市役所行政経営課財政係 TEL.76-8113

一般会計、特別会計、企業会計の合計

予算総額 およそ **451億2,200万円**

各会計別予算

会計名		予算額	前年度対比 ^{※1}	
			増減額	増減率(%)
一般会計		230億8,000万円	4億 888万5千円	1.8
特別会計	国民健康保険	88億 800万円	△8,100万円	△0.9
	土地取得	6億 900万円	2億3,900万円	64.6
	旭平和墓園事業	2,200万円	△700万円	△24.1
	公共下水道事業 ^{※2}	—	△28億5,800万円	皆減
	介護保険	50億4,600万円	1億 600万円	2.1
	後期高齢者医療	11億3,000万円	6,000万円	5.6
	小計	156億1,500万円	△25億4,100万円	△14.0
企業会計	水道事業	21億3,862万6千円	1億1,557万7千円	5.7
	公共下水道事業 ^{※2}	42億8,828万5千円	42億8,828万5千円	皆増
	小計	64億2,691万1千円	44億 386万2千円	217.7
合計		451億2,191万1千円	22億7,174万7千円	5.3

※1 平成28年度の一般会計当初予算は、骨格的予算として編成したことから、実質的な当初予算である6月補正後の予算額を平成29年度との比較に用いています。

※2 地方公営企業法適用に伴い、特別会計から企業会計へ移行しています。

予算の種類

一般会計／福祉、都市整備、教育など、市の主な事業を実施するための会計

特別会計、企業会計／保険料や使用料など、特定の歳入をもって、特定の事業を実施するために一般会計と区分した会計

平成29年度 施政方針(要旨)

全文はホームページをご覧ください



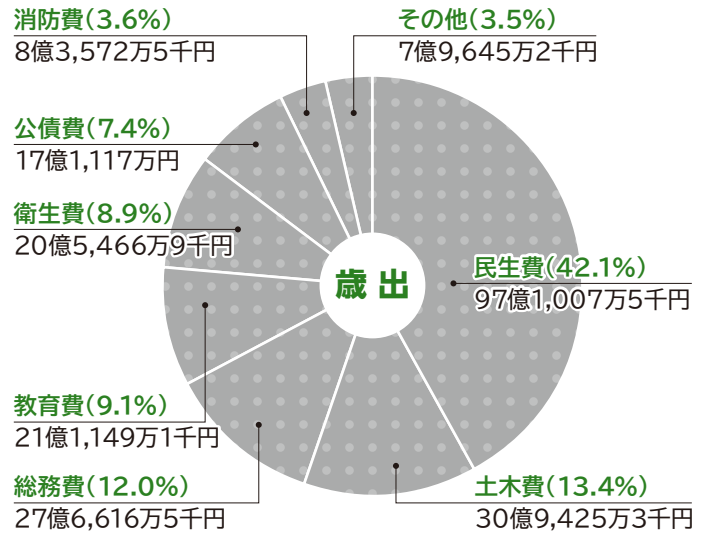
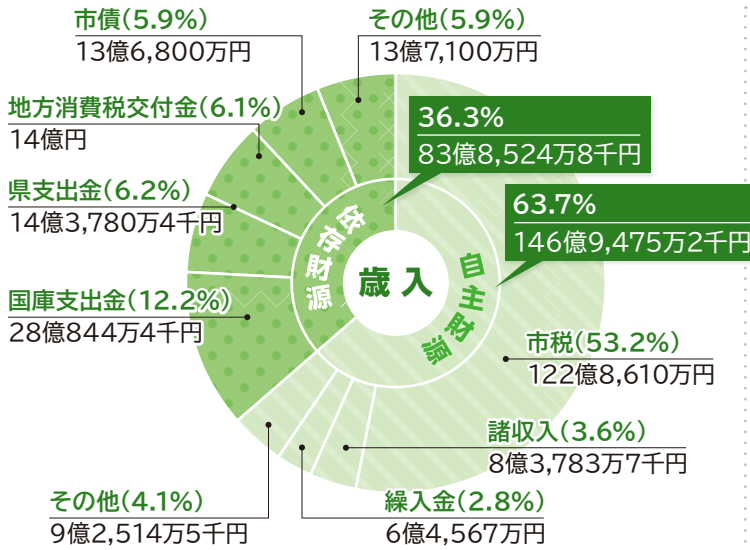
私が2期目の市政運営をスタートして、まもなく1年が経過しようとしております。私は、市長就任以来、各種メディアを活用し、市内外に積極的に市の情報を発信する「シティセールス」に力を入れてまいりました。

今、人口減少・少子高齢化の時代を迎え、全国の自治体が定住促進を重要施策に掲げ、生き残りをかけて地方創生の取り組みを進めています。こうした中では、情報を自ら積極的に発信し、本市をより多くのかたに知っていただくことが必要不可欠であります。

そして、平成31年春には、その「シティセールス」の貴重な機会となる、第70回全国植樹祭が愛知県森林公園で開催されることになりました。新年度は、それに向けた準備も進めてまいります。

さらに、尾張旭駅前にケーブルテレビの尾張旭局を誘致し、駅前広場と一体となったにぎわいを創出するなど、市民の皆さまにも変化を実感していただけるような取り組みも進めてまいります。

一般会計予算(230億8,000万円)の内訳



- 自主財源**／市が自主的に収入できる財源
- 依存財源**／国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源
- 市税**／市民のかたに納めていただく税金
- 国庫・県支出金**／特定の事業のために、国や県から交付される財源
- 市債**／国や金融機関などからの借入金

- ▼自主財源の「その他」は、使用料・手数料、繰越金など
- ▼依存財源の「その他」は、地方交付税、地方譲与税、株式等譲渡所得割交付金など

- 民生費**／高齢者や障がい者の福祉サービスや子育て支援などに関する経費
- 土木費**／道路、公園、河川の整備・維持管理などに関する経費
- 総務費**／市有財産の維持管理、税務、戸籍、選挙などに関する経費
- 教育費**／学校教育や社会教育などに関する経費
- 衛生費**／健康づくり、ごみ処理、環境対策などに関する経費
- 公債費**／市債の返済に関する経費

- ▼歳出の「その他」は、商工費、議会費、労働費、農林水産業費など

歳入	自主財源	市税 ／個人市民税は前年度比2,600万円、0.5%増加。法人市民税は前年度比1,190万円、2.3%増加。固定資産税は前年度比5,020万円、1.1%増加。市税全体では前年度比9,850万円、0.8%増加の見込み 緑入金 ／老朽化した公共施設の整備などに充当するため、1億3,000万円を公共施設整備基金から、不足する財源を補填するため、5億円を財政調整基金から繰り入れ
	依存財源	地方消費税交付金 ／緩やかな景気回復を見込み、前年度比7,000万円、5.3%増加の見込み 市債 ／都市計画道路霞ヶ丘線整備事業や晴丘テニスコート整備事業などに充てるため6億1,800万円、臨時財政対策債として7億5,000万円を計上
歳出	本年度に実施する重点事業や新規事業などを次ページ(トピックス2)で紹介します	

私は、1期目の4年間、長い間懸案であった課題に1つずつ取り組み、クリアしながらも、新たな起債を極力抑えるとともに、基金への積み立てを行い、財政の健全化を推進してまいりました。しかしながら、ここからさらに前へ進んでいくためには、これまで積み立ててきた基金と現在超低金利である市債を有効に活用していかざるを得ないと判断いたしました。目の前の数値だけにとらわれることなく、少し先、そしてさらにその先を見据えた行財政運営を行っている覚悟であります。

平成29年度の予算においても、議会で取り上げられた内容や、議員の皆さまや市民の皆さまからいただいたご要望、ご意見なども、極力取り入れるよう努力して編成いたしました。引き続き歳入の確保と歳出の最適化は図ってまいります。集中と選択が必要な時代であることを改めて皆さまにご理解をいただき、ご協力をいただくことが不可欠であると考えています。

私は、まちづくりの大きな方向性として、1期目と変わらず、「みんなで支えあうまち」を掲げております。そのためにも、これまで同様、現場に出て市民の皆さまの声を聴き、受け止め、その上で、耳が痛いことであってもしっかりとお伝えをし、そして最後は、責任を持って決断し実行してまいります。

「住み続けたい」「住んでみたい」まちの実現に向け、今後も市の魅力を高めるまちづくりに全力を投じてまいります。